

わが社の健康づくり活動

株式会社東芝 浜川崎工場

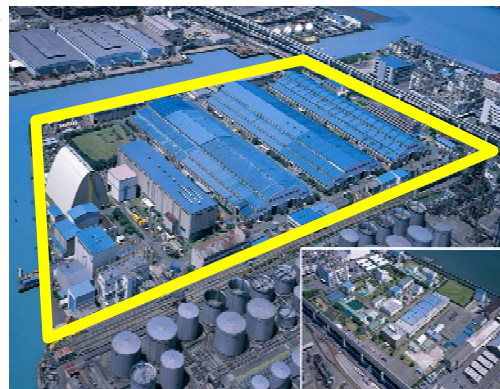
総務部 総務安全担当・健康支援センター

1. 事業所の概要

株式会社東芝 浜川崎工場は川崎市川崎区の浮島地区に位置し、近隣には厄除で有名な川崎大師や多摩川を挟んで対岸には羽田空港、アクアラインの海ほたるがあります。

敷地面積は約 33 万平方メートル（東京ドーム約 7 個分）で 1,170 名（男：1,093 名、女 77 名、平成 22 年 7 月現在）の従業員が働いています。

昭和 37 年 6 月に設立以来、高電圧大容量変電機器の研究・開発から製造までを一貫する開発拠点として、増え続ける電力需要に応え、安全で快適な暮らしを支える電力の供給に貢献してきました。これからもエネルギーの安定供給を使命として、高電圧・小型化を追求した、環境影響の少ない省エネルギー製品の国内外への供給を通じて、グローバルに貢献していきます。



2. 健康づくりの積極的な推進

「全ての従業員が個々の能力を十分発揮できるよう心身の健康保持増進に努めます」という目標を掲げ、健康支援センター長を責任者とし、産業医、看護師、保健師、安全スタッフ、衛生管理者と職場の代表者で組織する“元気いいん会”のメンバーで健康づくり活動を推進しています。その活動のいくつかを次にご紹介します。

◆健康診断の実施と個別（事後）指導

健康診断の実施後には、全社統一の定期健康診断支援システムを利用して個別指導を従業員全員に行っています。健診結果や問診票の回答に重み付けをして、健診結果チャートや 5 つのリスクグラフ（食生活、飲酒、喫煙、運動、メンタルヘルス）を表示して、従業員に解り易く説明し、運動・保健・栄養指導を行っています。



◆健康づくり

健康保険組合が開設する生活習慣改善応援サイト「活楽人（からっと）※」を導入し、ホームページやメールを用いて健康情報、健康相談サービス、生活習慣改善プログラムを配信し、従業員やその家族が健康づくりに手軽に取り組める環境を提供しています。

また、健康づくりの一環として職場対抗バレーボール大会や大縄跳び大会を開催し、日頃の運動不足と職場コミュニケーション不足の解消にも一役かっています。昨年は血圧に関する啓蒙教育を実施しました。今年はウォーキングキャンペーンを秋に行う予定です。

※活楽人（からっと）：インターネットや携帯端末による“生活習慣改善”と“日々の健康管理”を支援するサイト

～活動風景～

職場対抗バレーボール大会



血圧計の配布と啓発教育



◆メンタルヘルスケア

職場生活等において強い不安やストレスを感じる従業員については、保健スタッフが相談に応じ、職場や医療機関などとの調整を行っています。また、外部 EAP (Employee Assistance Program) を活用して、プライバシーを確保しながら、従業員とその家族が電話相談できる体制も整備しました。

メンタルヘルス教育としては従業員自身のセルフケア教育、その上司や管理監督者によるラインケア教育を行っています。ラインケア教育では毎年産業医が管理者に対し、正しい知識と対処方法についてレクチャーしています。

そして、残念ながら休職せざるを得なくなった従業員に対しては「職場復帰支援プログラム」に従って、休職した従業員が円滑に職場復帰し再発しないようにサポートしています。保健スタッフは、主治医や職場及び家族などと連携をとりながら、適切な復職時期や就労上の配慮などを提案しています。

◆過重労働対策

著しい長時間労働などの過重な労働負荷は、脳血管疾患・心疾患などの健康障害を増悪させる可能性があります。そこで、時間外労働が月 50 時間以上の従業員に対して時間外超過者健診を行っています。80 時間以上の従業員は、全員産業医による面接指導を義務づけています。

また、ワーク・スタイル・イノベーション活動*の一環として、労使が一体となって定時退社日の分散、臨時出勤なし日の設定、年間の総時間外労働時間の上限設定、休暇制度の見直しによる年次有給休暇の取得推進に取り組んでいます。

※ワーク・スタイル・イノベーション (W.S.I) 活動：集中度を高めて効率よく仕事をすることで時間の余裕を生み出す。

そして、その時間を使って心身ともにリフレッシュすることにより、イノベーションを次々と起こす組織風土を醸成するという当社独自の取り組み。

3. 今後の課題

我が社では安全健康基本方針に基づき活動に取り組んでいますが、当工場では特に BMI (Body Mass Index) 25 以上のいわゆる肥満とそれに伴う有所見率の高さが課題となっています。健康診断の個別指導の強化やウォーキングイベント開催による運動習慣の定着化に取り組むなどして、BMI の改善、ひいては有所見率の低減に繋がりたいと考えています。

以 上